

## 『夏祭り』

7月6日(土)に広州日本人学校で夏祭りが行われました。子どもたちが日本の夏の催しを楽しめるように、PTA役員、保護者が主体となって準備をすすめてくれました。このイベントは子どもたちが1年の中で最も楽しみにしているようで、夏祭りが近づくと、「どこに行く?! チョコバナナ、おいしそう! 食べたい!」などと盛り上がっていました。PTAの皆様には、子どもたちに盆踊りなど、みんな

が楽しめるような企画を考え、当日も運営をしていただきました。保護者、学校、商工会が一体となり、本校のPTAにしかできない取り組みになっていると感じました。当日の子どもたちの笑顔あふれる姿が、夏祭りの全てを語っているように思います。本当にありがとうございました。



## 『校内研修の充実』

子どもたちが直面する未来社会は、AIなどの人工知能が台頭し、2035年には日本におけるロボット市場は35兆円規模になるともいわれています。人にしかできないコミュニケーション能力を必要とする仕事が増え、求められることが予想されます。人と円滑に仕事をしていく上では、

規範意識や相手の立場に配慮した言動が大切です。本校では、道徳を研究の柱とし、子どもたちの道徳性の育成を目指して取り組みを進めています。教員一人ひとりが道徳の授業を公開したり、専門性を活かした教育講座を開講したりするなど、基礎学力の向上はもちろん、実社会に繋がる力を意識した指導を推進しています。先日は校長先生や教頭先生による特別講座もあり、全職員が同僚性を発揮しながら、校内研修の充実に努めています。

